

事務事業名	公立学校情報機器整備事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名 飛田博志
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	堀江 亮次	電話番号:0854-40-1072 (内線) 2283
	目的・対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。		
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:150:0:3 0:510:4:1	大事業名 教育推進事業 中事業名 公立学校情報機器整備事業
目的・対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒・教員	1人1台 学習用タブレットの整備
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	児童生徒 1人1台の学習用タブレット・ソフトウェアの整備 関連する環境(サーバ・校内ネットワーク)等の整備 ※令和2年度繰越事業
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
児童生徒 1人1台の学習用タブレット・ソフトウェアの整備 関連する環境(サーバ・校内ネットワーク)等の整備	令和元年度に国がGIGAスクール構想を打ちだし、全国の小中学校で1人1台の学習用タブレットの整備を図る方針が出された。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 校内LAN整備率	%			100.0	
イ 児童生徒用学習用タブレット整備台数	台			2,751	
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
需用費 1,011千円	財源内訳	国庫支出金	千円		477,186	
役務費 12,046千円		県支出金	千円			
委託料 40,080千円		地方債	千円			
使用料及び賃借料 138,096千円		その他	千円			
備品購入費 285,953千円		一般財源	千円			
●整備費計 477,186千円	事業費計	千円	0	0	477,186	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	児童生徒・教員の1人1台タブレット環境の整備を行ったうえで、整備時期が全国的に遅かったため、全国で課題・問題となっている事案に対して、事前の対応ができた。
② 事業実施するうえでの課題	今後の端末管理・次期更新時の費用
③ 課題解決に向けた改革改善等	各端末のリモートアクセス環境の整備による作業負担の軽減 校務系・学習系端末の統合(次期整備)に向けた検討の実施